
令和3年度 横浜市動物園レポート

Annual Report of
Municipal Zoological Gardens for FY2021(Digest)



横浜市
City of Yokohama



令和3年度 横浜市動物園レポート

For FY2021 Annual Report of Yokohama Municipal Zoological Gardens

目次 Contents

1	各施設概要 Summary of Yokohama Municipal Zoological Gardens	1
2	入園者数一覧 A list of the number of Visitors	3
3	主な年間トピックス Topics	3
4	飼育動物 Animals	6
(1)	飼育動物数一覧 Status of Collection	6
(2)	貸借動物（貸出動物・借入動物） Animals On Loan	7
(3)	主な繁殖動物 Significant births	8
5	保全活動 Conservation activities	11
(1)	国内における保全活動 Conservation activities in Japan	11
(2)	海外における保全活動 International conservation activities	13
(3)	その他（傷病鳥獣保護事業・緊急保護動物）	14
	Others(Wildlife Rescue Program / Expropriation of CITES)	
6	教育普及活動 Conservation Education	15
7	調査研究 Research	16
8	イベント（社会貢献活動・夜間開園・その他） Events	16
9	アニマルペアレント・友の会・ボランティア・実習生 Animal supporter・Membership・Volunteers・Interns	18

注）本レポートは、令和3年度横浜市動物園年報（横浜市）を出典として作成しています。

※表紙写真：

レッサーパンダ (*Ailurus fulgens styani*) のイチゴ（野毛山動物園）

1 各施設の概要 Summary of Yokohama Municipal Zoological Gardens

よこはま動物園ズーラシア Yokohama Zoological Gardens “ZOORASIA”

『横浜市を代表する総合的な動物園として、誰もが楽しみながら学べる動物園』

平成 11 年（1999 年）4 月 24 日開園

所在地：横浜市旭区上白根町 1175-1 TEL：045-959-1000 面積：45.3ha

平成 11 年に一次開園した横浜で一番新しい動物園です。平成 27 年 4 月に「アフリカのサバンナ」を全面公開し、敷地面積が国内最大級の 45.3ha となりました。園内は「アジアの熱帯林」から「アフリカのサバンナ」まで 8 つの気候帯で構成され、展示場は生息環境を再現した「生息環境展示」となっています。オカピやインドライオン、カンムリセイランなど日本初渡来の動物を数多く飼育しています。

横浜市繁殖センター Preservation and Research Center, City of Yokohama (PRC)

『3 動物園の種の保存、調査研究活動の後方支援センター
種の保存と繁殖専門機関として国際的な役割を務めるセンター』

平成 11 年（1999 年）4 月 24 日開所

所在地：横浜市旭区川井宿町 155-1 TEL：045-955-1911 面積：3.7ha

よこはま動物園の一面に平成 11 年に開設されました。動物園の中に、希少動物の保護を目的とした非公開の繁殖研究施設が開設されたのは国内で初めてのことです。飼育棟ではマレーバク、カンムリシロムク、カグーなどの繁殖に努め、研究棟では動物同士の近縁関係や性判定のための遺伝子解析や繁殖のための性ホルモンの分析のほか、精子や卵子といった配偶子の凍結保存なども行っています。

野毛山動物園 Nogeyama Zoological Gardens

『小さな子どもが初めて動物に出会い、ふれあい、命を感じる動物園
誰もが気軽に訪れて、楽しく、憩い、癒される動物園』

昭和 26 年（1951 年）4 月 1 日開園

所在地：横浜市西区老松町 63-10 TEL：045-231-1307 面積：3.3ha

昭和 26 年に開園した横浜で一番古い動物園です。モルモットなどの小動物とのふれあいができる「なかよし広場」を始め、爬虫類館や猛獣舎などが人気を集めています。

万騎が原ちびっこ動物園 Makigahara Chibikko Zoological Gardens

昭和 54 年（1979 年）4 月 28 日開園

所在地：横浜市旭区大池町 65-1（こども自然公園内） TEL：045-351-5442 面積：0.2ha

野毛山動物園の分園として、旭区の「こども自然公園」内に、日本鶏やふれあい動物を中心に飼育展示しています。

金沢動物園 Kanazawa Zoological Gardens

『動物たちのふれあいと、横浜南部の緑豊かな自然を感じながら、
命や環境の大切さについて気づく「いきもの発見！体感動物園」』

昭和 57 年（1982 年）3 月 17 日開園

所在地：横浜市金沢区釜利谷東 5-15-1 TEL：045-783-9100 面積：12.8ha

昭和 57 年に野毛山動物園の分園として、金沢自然公園の中にアメリカ区の一部が一次開園しました。その後、昭和 63 年に野毛山動物園から独立して横浜市立金沢動物園となり、平成元年にアメリカ区の完成により全面開園しました。コアラ、インドゾウ、クロサイなどの希少草食動物を中心に展示しています。近年は周辺の豊かな森をテーマに、身近な生き物を通じた環境教育に力をいれています。

OUTLINE OF THE YOKOHAMA MUNICIPAL ZOOLOGICAL GARDENS

■ Yokohama Zoological Gardens (ZOORASIA)

ZOORASIA is a part of the Yokohama Animal Forest Park. The zoo initially opened in 1999 and added a new African savanna area in 2015. It is designed as an animal theme park where people of different ages can learn about animals while observing them in their natural habitat. The zoo also has facilities for breeding and research.

- Address 1175-1 Kamishirane-cho, Asahi-ku, Yokohama 241-0001 JAPAN
- Phone +81-45-959-1000 Facsimile +81-45-951-0777
- Director MURATA Koichi
- URL <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

<Preservation and Research Center>

The Center was established in 1999, attached to the Yokohama Zoological Gardens. The Center carries out research work for all of Yokohama's zoos for conservation of endangered species. To allow some species to breed in the quiet environment, it is not open to the public.

- Address 155-1 Kawaijuku-cho, Asahi-ku, Yokohama 241-0804 JAPAN
- Phone +81-45-955-1911 Facsimile +81-45-955-1060
- Director OGATA Mitsuaki
- URL

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/zoo_garden/hanshoku/

■ Nogeeyama Zoological Gardens

In 1949, Nogeeyama Park was chosen as the 1st venue for a Japanese trade exposition sponsored by Yokohama city. The animal exhibitions were such a success that more animals were added and it was made into a zoo. It has a beautiful garden-style park where we exhibit familiar animals and includes an area where visitor can interact with the animals. It is located downtown and is loved by both young and old as a green oasis in the middle of the city.

In 1979, we opened the “Makigahara Chibikko Zoological Gardens” as a part of Nogeeyama Zoo located in the “Children’s Nature Park (Kodomo Shizen Kouen)” in Asahi ward.

- Address 63-10 Oimatsu-cho, Nishi-ku, Yokohama 220-0032 JAPAN
- Phone +81-45-231-1307 Facsimile +81-45-231-3842
- Director TAMURA Rie
- URL <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeeyama/>

■ Kanazawa Zoological Gardens

Kanazawa Zoo specializes in large herbivores including endangered species, and contributes to their conservation. It was established in 1982, in one of the most lush natural areas in Yokohama city.

- Address 5-15-1 Kamariyahigashi, Kanazawa-ku, Yokohama 236-0042 JAPAN
- Phone +81-45-783-9100 Facsimile +81-45-782-9972
- Director OGUNI Toru
- URL <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>

2 入園者数一覧 過去5カ年 A list on the number of visitors for past 5 years

(出典：年報 P21)

令和4年3月末現在 End of March, 2022

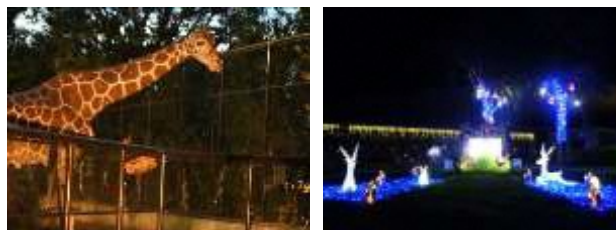
	よこはま動物園 ZOORASIA	野毛山動物園 Nogeyama	万騎が原 ちびっこ 動物園 Makigahara	金沢動物園 Kanazawa	3園合計 (よこはま・ 野毛山・金沢) Z+N+K
R3年度 FY 2021	1,032,780人	500,925人	65,107人	322,346人	1,856,051人
R2年度 FY 2020	754,247人	390,886人	34,202人	263,224人	1,408,357人
R元年度 FY 2019	982,820人	548,927人	106,528人	246,982人	1,778,729人
H30年度 FY 2018	1,077,317人	638,518人	121,219人	299,098人	2,014,933人
H29年度 FY 2017	1,149,654人	721,131人	126,563人	321,990人	2,192,775人

3 主な年間トピックス Topics

(出典：年報 P16～18)

◆ 3園共通

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「よこはま夜の動物園」を途中中止（全10日のうち9日間中止）
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として各種イベント等の実施を縮小し、動画配信等を実施（適宜）



「よこはま夜の動物園 2021」

◆ よこはま動物園 ZOORASIA

- ・ テングザルの赤ちゃん雌1頭誕生（4月4日）
- ・ アカアシドクラングールの赤ちゃん雌1頭誕生（5月13日）
- ・ エランドの赤ちゃん雄1頭誕生（7月19日）
- ・ カムリセイランのヒナ雌2羽誕生（7月20、21日）
- ・ キリン雌「エミリー」が仙台市八木山動物公園へ出園（9月7日）
- ・ 国内初めての人工授精で誕生したツシマヤマネコ雌「ひい」が名古屋市東山動植物園へ出園（10月7日）
- ・ ボルネオオオランウータン雌「ナナ」が福岡市動物園へ出園（10月27日）
- ・ キリンの赤ちゃん雄2頭誕生（9月24日、10月3日）

- ・ ツシマヤマネコ野生順化ステーションから雄「こう」雌「みーちゃん」、井の頭自然文化園から雌「メイ」、対馬野生生物保護センターから雄「チョビ」が来園（11月16、18日、12月7日）
- ・ クリスマスにテングザルの赤ちゃん雄1頭誕生（12月25日）
- ・ リカオンの雄「ロシェ」と、雄「ドラジェ」が浜松市動物園へ出園（2月15日）
- ・ ツシマヤマネコ雄「チョビ」が福岡市動物園に、雄「こう」がツシマヤマネコ野生順化ステーションに出園（1月29日、2月3日）
- ・ マレーバクの赤ちゃん雄1頭誕生（1月12日）
- ・ アカアシドウクラングールの赤ちゃん雄1頭誕生（1月29日）
- ・ ボルネオオランウータン「ジュリー」が日本平動物園に出園（3月8日）
- ・ ふくしま海洋科学館からユーラシアカワウソ雌「ナゴミ」が来園（3月12日）
- ・ ツシマヤマネコの人工受精成功に関する論文が学術誌「Animals」に掲載（3月19日）



ツシマヤマネコ「ひい」



マレーバク「ひでお」

◆ 野毛山動物園 Nogeyama Zoo

- ・ 開園70周年記念企画の実施
- ・ 閉館した油壺マリンパークからインドホシガメ2頭来園（10月12日）
- ・ 開園70周年を記念しクラウドファンディングによるオリジナルエコバッグ販売を実施し（9月まで）、その収益等を活用したレッサーパンダ展示場のリニューアル（11月2日公開）
- ・ ヘサキリクガメ5頭孵化（5月26日、6月17日、6月19日、9月13日、12月19日）
- ・ インドホシガメ1頭孵化（10月5日）
- ・ ハミルトンガメ4頭ドイツ・ライプツッヒ動物園より譲受（1月11日）
- ・ レッサーパンダ雄「賢健」死亡（3月26日）
- ・ ミナミコアリクイ雌「アン」が伊豆シャボテン公園より来園（3月28日）



ミナミコアリクイ「アン」



オリジナルエコバッグ

◆ 金沢動物園 Kanazawa Zoo

- ・ 累計入園者 1500 万人達成 (5 月 3 日)
- ・ オオツノヒツジ繁殖 (5 月 31 日)
- ・ スーチョワンバーラル繁殖 (5 月 3 日、5 月 8 日、8 月 5 日)
- ・ ベアードバク雄 1 頭、繁殖センターから来園 (6 月 7 日)
- ・ アオバネワライカワセミ雄 1 羽死亡 (6 月 14 日)
- ・ 環境省トゲネズミ類生息域外保全に参画し、アマミトゲネズミ 6 頭 (雄 3 雌 3) が埼玉県こども動物自然公園から来園 (7 月 7 日)
- ・ オオツノヒツジ「ジュタロウ」死亡 (10 月 21 日)
- ・ コアラ雌「ユイ」死亡 (11 月 8 日)
- ・ ニホンカモシカ雌「クミ」死亡 (11 月 11 日)
- ・ キリン雌「サキ」誕生 (11 月 12 日)
- ・ ニホンカモシカ雄「クロベ」が埼玉県こども動物自然公園から来園 (11 月 8 日)
- ・ コアラ雌「コハル」が埼玉県こども動物自然公園から来園 (11 月 15 日)
- ・ ニホンカモシカ雄「カイ」が富山市ファミリーパークへ出園 (11 月 22 日)
- ・ アオバネワライカワセミ雄「ヒデヨシ」死亡 (12 月 17 日、飼育期間 30 年 1 か月 10 日)
- ・ アラビアオリックス雄「ミライ」死亡 (1 月 9 日)
- ・ アマミトゲネズミ繁殖 (2 月 5 日、3 月 12 日)
- ・ 開園 40 周年記念日 (3 月 17 日)



アラビアオリックス「ミライ」



キリン「サキ」

◆ 繁殖センター PRC

- ・ ミゾゴイ雄 1 羽が那須どうぶつ王国へ出園 (4 月 22 日)
- ・ ツチガエル 3 匹が金沢動物園へ出園 (5 月)
- ・ ベアードバク雄 1 頭が金沢動物園へ出園 (6 月 7 日)
- ・ ツチガエル 441 匹 (幼生含む) を域外保全のため試験放野 (6 月 26 日)
- ・ カンムリシロムク雄 1 羽が王子動物園へ出園 (7 月 13 日)
- ・ ツチガエル 273 匹 (幼生含む) を域外保全のため試験放野 (7 月 24 日)
- ・ カワラヒワ雌 1 羽が金沢動物園より来園 (9 月 4 日)
- ・ ミゾゴイ雄 1 羽が上野動物園へ出園 (9 月 5 日)
- ・ カンムリシロムク 2 羽 (雄 1 羽雌 1 羽) が富山市ファミリーパークより来園 (10 月 18 日)
- ・ カワラヒワ 6 羽 (雄 3 雌 3)、野外より導入 (10 月 31 日)

- ・カワラヒワ雌1羽がズーラシアより来園（10月20日）
- ・カンムリシロムク2羽（雄1雌1）をわんぱーくこうちアニマルランドの雄2羽と交換（11月8日）
- ・カワラヒワ雄1羽がズーラシアより来園（11月14日）
- ・カワラヒワ雄1羽が金沢動物園より来園（11月20日）
- ・カグー2羽（雄1雌1）がニューカレドニアより来園（1月11日）
- ・カワラヒワ2羽（雄1雌1）が上野動物園へ出園（1月16日）
- ・ニホンライチョウ雌1羽が上野動物園より来園（3月19日）
- ・カワラヒワ雄1羽が豊橋総合動植物公園へ出園（3月30日）



ニホンライチョウ



カワラヒワ

4 飼育動物 Animals

(1) 飼育動物数一覧 Status of Collection (出典：年報 P23)

令和4年3月末現在 **End of March, 2022**

	哺乳類 MAMMALIA	鳥類 AVES	爬虫類 REPTILIA	両生類 AMPHIBIA	魚類 PISCES	総計 Total
よこはま動物園 ZOORASIA	52種 348点	41種 235点	5種 11点	—	1種 1点	99種 595点
野毛山動物園 Nogeyama	18種 370点	30種 143点	30種 147点	—	4種 1,145点	82種 1,805点
万騎が原ちびっこ動物園 Makigahara	2種 85点	1種 29点	—	—	—	3種 114点
金沢動物園 Kanazawa	24種 160点	11種 19点	5種 12点	7種 36点	4種 929点	51種 1,156点
繁殖センター PRC	1種 5点	9種 186点	—	4種 299点	—	14種 490点
総計 Total	80種 968点	78種 612点	32種 170点	9種 335点	7種 2,075点	206種 4,160点

※upper:Species lower: Individual specimen

(2) 貸借動物 Animals on Loan (出典：年報 P80～83)

市立動物園では、遺伝的多様性を踏まえた飼育動物の繁殖を進めるため、国内外の動物園と繁殖貸借契約（ブリーディングローン）を結び、飼育動物の貸出借入を行っています。

◆ 貸出動物 Out on Loan

令和4年3月末現在 End of March,2022

	哺乳類 MAMMALIA	鳥類 AVES	爬虫類 REPTILIA	総計 Total
よこはま動物園 ZOORASIA	15種 49点 ケープハイラックス、レッサーパンダ、ミーマキヤット、フランソワルトン 等	9種 23点 ベトナムキジ、フサホロホロチョウ、カンムリセイラン 等	—	24種 72点
野毛山動物園 Nogeyama	4種 5点 アカエリマキキツネザル、フサオマキザル、キリン、スマトラトラ	4種 5点 パラワンコクジャク、インドクジャク、フンボルトペンギン、コンドル	4種 13点 インドセタカガメ、ホウシャガメ、ハミルトンガメ、ボールニシキヘビ	12種 23点
金沢動物園 Kanazawa	8種 20点 オオカンガルー、ヒガシクロサイ、インドサイ、アラビアオリックス 等	1種 2点 ヒクイドリ	—	9種 22点
繁殖センター PRC	1種 1点 ブラジルバク	4種 22点 ホオアカトキ、ミゾゴイ、カンムリシロムク、等	—	5種 23点
総計 Total	26種 75点	18種 52点	4種 13点	48種 140点

※upper:Species lower: Individual specimen

◆ 借入動物 In on Loan

令和4年3月末現在 End of March,2022

	哺乳類 MAMMALIA	鳥類 AVES	爬虫類 REPTILIA	総計 Total
よこはま動物園 ZOORASIA	24種 49点 テングザル、ウーリーモンキー、ボルネオオランウータン、アカアシドゥクラングール 等	7種 11点 コウノトリ、フンボルトペンギン、ニジキジ、オオワシ、マナヅル、タンチョウ 等	—	31種 60点
野毛山動物園 Nogeyama	7種 11点 チンパンジー、ニホンツキノワグマ、シセンレッサーパンダ、グレビーシマウマ、キリン 等	2種 3点 ショウジョウトキ、コンドル	3種 4点 リュウキュウヤマガメ、ヨウスコウウニ、ニシアフリカコガタワニ	12種 18点
金沢動物園 Kanazawa	7種 13点 コアラ、バルマワラビー、カピバラ、ヒガシクロサイ、インドサイ、キリン 等	—	—	7種 13点
繁殖センター PRC	1種 2点 マレーバク	3種 10点 ニホンライチョウ、コンゴクジャク等	—	4種 12点
総計 Total	36種 75点	12種 24点	3種 4点	51種 103点

※upper:Species lower: Individual specimen

(3) 主な繁殖動物 Significant births (出典：年報 P54～55)

◆ よこはま動物園 ZOORASIA



テングザル
Proboscis Monkey (*Nasalis larvatus*)
令和3年4月4日生 愛称：キキ (雌)



アカアシドゥクラングール
Red-shanked Douc Langur (*Pygathrix nemaeus*)
令和3年5月13日生 愛称：ライ (雌)



カンムリセイラン
Crested Argus (*Rheinardia ocellata ocellata*)
令和3年7月20日、21日生 (雌)



エランド
Common Eland (*Tragelaphus oryx*)
令和3年7月19日生 愛称：ブーツ (雄)



キリン
Giraffe (*Giraffa camelopardalis*)
令和3年9月24日、10月3日生
愛称：エレン、カナト (雄)



テングザル
Proboscis Monkey (*Nasalis larvatus*)
令和3年12月25日生 愛称：ナタル (雄)



マレーバク
Tapirus indicus (*PMalayan Tapir*)
令和4年1月12日生 愛称：ひでお (雄)



アカアシドゥクラングール
Red-shanked Douc Langur (*Pygathrix nemaeus*)
令4年1月29日生 愛称：サン (雄)

◆ 野毛山動物園 Nogeyama Zoo



フサオマキザル
Brown capuchin (*Cebus apella*)
令和3年5月29日生 愛称：マカコ (雌)
令和3年5月30日生 愛称：ジュンゾウ (雄)



ルリゴシボタンインコ
Fischer's Lovebird (*Agapornis fischeri*)
令和3年5月2日生 (2羽、雌・雄)
令和3年5月3日生 (雄)



オグロワラビー
Swamp Wallaby (*Wallabia bicolor*)
令和4年9月12日生 愛称：オハナ (雌)



ヘサキリクガメ
Angonoka tortoise (*Astrochelys yniphora*)
令和3年5月26日生、令和3年6月17日生
令和3年6月19日生、令和3年9月13日生
令和3年12月19日生 (性別不明)



ハウシャガメ
oise (*Astrochelys radiata*)
令和3年4月9日生、令和3年5月15日生
令和3年8月8日生 (性別不明)

◆ 金沢動物園 Kanazawa Zoo



オオツノヒツジ

Bighorn sheep (*Ovis canadensis*)
令和3年5月31日生 愛称：ウタマル (雄)



スーチョワンバーラル

Chinese Bharal (*Pseudois nayaur szechuanensis*)
令和3年5月3日生 愛称：ウルル (雌)



キリン

Koala (*Phascolarctos cinereus*)
令和3年11月12日出袋 愛称：サキ (雌)



アマミトゲネズミ

Parma Wallaby (*Macropus parma*)
令和4年2月5日生：(雄)

◆ 繁殖センター PRC



ホオアカトキ

Northern Bald Ibis (*Geronticus eremita*)
令和3年5月16日生 No.109 (雌)

5 保全活動 Conservation activities

(1) 国内における保全活動 Conservation activities in Japan

(出典：年報 P69～70)

◆ ツシマヤマネコ保護増殖事業への参画

Participation in “Tsushima Leopard cat Conservation & Reproduction Project” by Ministry of the Environment



よこはま動物園では、国（環境省）が策定する本種の保護増殖事業に参画し、展示と繁殖の基礎研究への取り組みを平成18年度から実施しています。令和2年度に人工授精により誕生し、人工哺育により成育した子を東山動植物園を経て、福岡市動植物園へ出園しました。また、雄2頭、雌2頭を導入し、よこはま動物園で飼育していた2頭も併せ人工繁殖に取り組みました。

◆ ミゾゴイの保全 Conservation of Japanese Night Heron

野毛山動物園、金沢動物園、繁殖センターでは、国内動物園や各地の行政機関と連携し、ミゾゴイの飼育下個体群確立に向けて、野生救護個体の継続飼育と収集、および繁殖を目指しました。繁殖センターではファウンダー貢献度の低いペアの繁殖に取り組みました。また、金沢動物園と協力し、野生復帰試験に向けた施設整備や、研究者との情報交換なども実施しました。野毛山動物園は展示普及施設として協力しました。



◆ コウノトリ野生復帰事業への参画

Participation in “Oriental Stork re-introduction Project”



よこはま動物園では、コウノトリの飼育施設や野生復帰事業に取り組む機関・施設等で構成された組織であるIPPM-OW（「コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル」）の計画に基づき、よこはま動物園の飼育ペアより得られた有精卵を千葉県野田市に移動することで調整を開始しました。移動した卵は野田市施設で仮親に托卵し、得られた雛は、ソフトリリースされる予定です。

◆ トゲネズミ類生息域外保全事業への参画

Participation in “spiny rat ex-situ conservation Project”



金沢動物園では、環境省と（公社）日本動物園水族館協会が連携して行っているトゲネズミ類生息域外保全事業に参画し、埼玉県こども動物自然公園からアマミトゲネズミを6頭導入しました。令和4年2月と3月に5頭繁殖しています。

◆ ニホンライチョウ保護増殖事業への参画

Participation in “Japanese Rock Ptarmigan Conservation & Reproduction Project” by Ministry of the Environment



繁殖センターでは、環境省と（公社）日本動物園水族館協会が連携して行っているニホンライチョウ生息域外保全事業に参画し、本種の飼育・繁殖技術確立のため各園と協力しながらニホンライチョウの飼育と調査研究に取り組みました。また飼育下繁殖に向けて新たに雌1羽を導入しました。

◆ 横浜市ミヤコタナゴ保護育成検討会への参加

Participation in metropolitan bitterling ex-situ conservation meeting

野毛山動物園と金沢動物園では、横浜市教育委員会が主管している「ミヤコタナゴ保護育成検討会」の一員として、市内では絶滅したミヤコタナゴの野生復帰に向けて、飼育下での種の保存に取り組みました。（令和3年度繁殖実績：野毛山10匹、金沢25匹）また、市内で行われた環境整備事業や個体数調査等に参加しました。



◆ 横浜産の身近な生き物の保全 **Conservation of Local wildlife in Yokohama**

ミナミメダカ (Japanese Rice Fish)

野毛山動物園と金沢動物園では、「横浜メダカの会」と協力し、メダカの横浜産地域個体群（いわゆる「横浜メダカ」）の種の保存のため、同会から譲り受けた横浜メダカの飼育展示、継代飼育を行いました。野毛山動物園においては、71匹の繁殖に成功しました。



ミヤマクワガタ (Miyama stag Beetle)

金沢動物園では、周辺地域に生息している貴重なミヤマクワガタの飼育下繁殖に取り組んでいます（令和3年度実績：約100匹）。飼育下繁殖個体群からの繁殖を継続的に行い、安定した繁殖が可能となっています。飼育下繁殖個体の一部は普及啓発を目的として展示しました。



トウキョウサンショウウオ (Tokyo salamander)

金沢動物園では、神奈川県内では三浦半島にしか生息していないトウキョウサンショウウオについて、域外保全に向けて飼育繁殖技術の確立に取り組んでおり、順調に育成中です。



アカハライモリ (Japanese fire belly newt)

金沢動物園では繁殖センターと共同で神奈川県内のアカハライモリの遺伝的多様性を調査しました。DNA解析の結果、横浜市の個体群は西日本から移入された系統であることが判明しました。近隣の11個体群では北日本と中部日本の2系統が確認され、特に丹沢山系の南麓で2つの系統が接していることが明らかとなりました。



カエル類(Frogs)

横浜市内の地域種の保全を目的に、本市北部地域の両生類（ニホンアカガエル、ツチガエル）の飼育下繁殖、繁殖センター周辺の両生類の生息調査（卵塊含む）を実施しました。令和3年度は5月にツチガエルの保全連絡会を開催し、前年度に実施した復帰予定地の環境調査結果を踏まえ、具体的な試験放野計画を決定しました。その後、6・7月に成体・幼体計250匹、幼生464匹、合計714匹を関係者の協力の元、試験放野しました。その後、放野地を管理する団体とともに生息調査を実施し、10月上旬まで生体を目視にて確認しました。



(2) 海外における保全活動 International Conservation activities

(出典：年報 P69)

◆ オカピ保護プロジェクト（本部アメリカ・フロリダ州）

Participation in “Okapi Conservation Project”

よこはま動物園では、SSP（北米の種保存計画）に参画し、世界のオカピ飼育園の協力体制として生息地にあるオカピ保護センター（コンゴ民主共和国）の運営に資金援助を実施しました。また、SSPにもとづき令和2年度から引き続き上野動物園より導入した雄とよこはま動物園で飼育している雌とのペアリングを行いました。



◆ テングザル繁殖共同計画（インドネシア共和国）

Collaborative Program for Breeding of Proboscis Monkey

よこはま動物園では、平成21年に生息地であるインドネシアの動物園との飼育技術交流に基づきテングザルが入園しました。現地での保護活動に協力するため展示場に保護募金を設置し、賛同する来園者への募金の呼びかけを実施しました。また、テングザルの繁殖生理を解明するために、繁殖センターと糞中性ホルモンと繁殖行動の関連を調べる研究を継続しました。令和3年度は2頭の繁殖子を得ました。



(3) その他 Others

◆ 野生傷病鳥獣保護事業 Wildlife Rescue Program (出典：年報 P63～67)

市立動物園では、昭和 47 年度から市民により保護された野生傷病鳥獣を各園の動物病院で治療し、リハビリした後、回復した個体を適切な場所に放野しています。令和 3 年度は高病原性鳥インフルエンザ防疫体制のため、11 月 1 日～3 月 31 日の間、鳥類の受入れを原則中止しました。

野毛山動物園は、病院棟の改修工事のため令和 3 年 6 月 30 日～令和 4 年 1 月 31 日の間、傷病動物の受入れを中止していました。工事終了後も鳥インフルエンザ対応のため受入中止を継続しました。

令和 3 年度実績 Results for FY2021

	哺乳類 MAMMALIA	鳥類 AVES	総計 Total
よこはま動物園 ZOORASIA	2 種 67 点	26 種 145 点	28 種 212 点
野毛山動物園 Nogeyama	3 種 7 点	13 種 37 点	16 種 44 点
金沢動物園 Kanazawa	5 種 118 点	36 種 228 点	41 種 346 点
総計 Total	5 種 192 点	46 種 410 点	51 種 602 点

※upper:Species lower:Individual specimen



ホンドタヌキ (よこはま動物園で保護)



アオバズク (野毛山動物園で保護)



ウミネコ (金沢動物園で保護)

◆ 緊急保護動物 Expropriation of CITES emergency protected animals (出典：年報 P68)

空港等の税関で「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」(通称ワシントン条約)等により緊急保護収容の必要が生じた動物が出た場合、関係機関の依頼に基づき、緊急保護飼育しています。

令和 4 年 3 月末現在収容数 End of March,2022

	ワシントン条約違反による収容 CITES
よこはま動物園 ZOORASIA	1 種 6 点
野毛山動物園 Nogeyama	5 種 17 点
総計 Total	5 種 23 点



インドホシガメ (野毛山動物園)

※upper:Species lower:Individual specimen

6 教育普及活動 Conservation Education

(出典：年報 P87～105)

市立動物園では、令和3年度の教育普及活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し実施しました。動物とのふれあいを伴うプログラムについては中止または内容を変更し、園内ガイドについては一部動画配信による実施としました。その他のプログラムについては、定員や実施方法を見直したほか、オンラインでの対応やDVDの貸出による対応も行いました。

令和3年度実績 Results for FY2021

	よこはま動物園 ZOORASIA	野毛山動物園 Nogeyama	金沢動物園 Kanazawa	繁殖センター PRC	総計 Total
企画展等 実施件数 Special exhibition etc	14	13	19	2	48
教室、園内ガイド、 飼育体験等回数 On-site guide etc (動画配信本数)	747 (13)	520 (27)	380 (3)	2 (0)	1,649 (43)
学校教育との 連携件数 Cooperation with school education	93	76	160	11	340
他の団体との 連携件数 Cooperation with Other organs	6	0	4	0	10



ズーラシアフェス！企画展（よこはま動物園）



宿題教室（野毛山動物園）



こどもアートワークショップ（金沢動物園）



特別公開（繁殖センター）

7 調査研究 Research

(出典：年報 P108～114)

市立動物園では、繁殖生理学、遺伝学、動物行動学、獣医学など様々な分野におけるテーマについて、独自または大学等の研究機関と共同して、調査研究を行っています。

令和3年度実績 Results for FY2021

	よこはま動物園 ZOORASIA	野毛山動物園 Nogeyama	金沢動物園 Kanazawa	繁殖センター PRC	総計 Total
共同研究実施数 Collaborative research (PRC との共同研究)	20 (13)	8 (2)	17 (1)	18 (0)	63 (16)
口頭発表件数 Presentation (PRC との共同研究)	12 (0)	6 (0)	10 (0)	0 (0)	28 (0)
投稿記事・論文投稿数 Article (PRC との共同研究)	4 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (0)	8 (1)
講師・ポスター発表等件数 Lecturer, Poster presentation (PRC との共同研究)	10 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	15 (0)

8 イベント Events

(出典：年報 P85～86)

市立動物園では、各園がそれぞれの特色を活かし、様々なイベントを実施しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部を中止したほか、規模を縮小または動画配信等オンラインで実施しました。

◆ 夜間開園 Night Zoo

例年夏に通常の開園時間を延長する「よこはま夜の動物園」を実施しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため途中中止しました。(全10日のうち9日間中止)

◆ 「ドリームナイト・アット・ザ・ズー(Dream Night at the Zoo)」

障がいがある子どもたちとその家族を夜の動物園に招待するオランダ発祥の国際的イベントで、国内では平成17年度によこはま動物園ズーラシアが初めて開催しました。その後、金沢動物園(19年度～)、野毛山動物園(20年度～)でも実施しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

◆ その他各園の主なイベント Other Significant events

3園共催イベント 3zoo joint event

七夕まつり、3園シールラリー、クリスマスイベント、ポスターカレンダープレゼント、お正月イベント 等



七夕まつり（よこはま動物園）



お正月イベント（野毛山動物園）



お正月イベント（金沢動物園）

よこはま動物園 Zoorasia

ボウシテナガザル赤ちゃん「プロイ」公開、ツシマヤマネコ赤ちゃん公開、ハロウィン特別ガイド、「ハッピーバレンタイン in ズーラシア工作教室」、「ズーラシアガーデンパーティ」、マレーバクの赤ちゃん愛称投票、等



ツシマヤマネコの赤ちゃん公開



ハロウィン特別ガイド



ズーラシアガーデンパーティ

野毛山動物園 Nogeyama

クラウドファンディングによる開園 70 周年記念エコバッグ販売、開園感謝祭、「WEB で開催！ミュージアムミッション 2021」、「おうちでナイトのげやま」（「ナイトのげやま」代替企画）、レッサーパンダ展示場リニューアル、記念ノベルティプレゼント、等



開園 70 周年記念エコバッグ



記念ノベルティ



レッサーパンダ展示場リニューアル

金沢動物園 Kanazawa

「Save the animal～あなたの知らない絶滅危惧種」、ズーレンジャークイズラリー、「Zoo to Wild Fes Autumn～人と動物の関わり」、「Zoo to Wild Fes spring～楽しく学ぶ SDG s」、「どうぶつたちにおとしだま」、等



ズーレンジャークイズラリー



どうぶつたちにおとしだま



楽しく学ぶ SDG s

9 アニマルペアレント・友の会・ボランティア・実習生 Animal supporter / Membership / Volunteers /

◆ アニマルペアレント Animal supporter

動物たちへの愛着と市立動物園への理解を深めていただくとともに、動物たちが今よりもっと豊かな生活が送れるように、支援を募る制度です。お寄せいただいた支援金は、主に動物のエサ代や遊具、展示場改善などに使わせていただいています。

令和3年度実績 Results for FY2021

	口数 Number of units	金額 amount
よこはま動物園 ZOORASIA	622	3,110,000
野毛山動物園 Nogeyama	393	1,965,000
金沢動物園 Kanazawa	302	1,510,000
総計 Total	1,317	6,585,000



インドゾウ展示場の自動給餌器
(よこはま動物園)

◆ 横浜市動物園友の会 Yokohama zoo membership

横浜市動物園友の会は市立動物園の愛好者の集まりとして昭和44年に発足しました。飼育スタッフや会員の方々と動物を通して動物の愛護や親睦を図っています。

令和3年度実績 Results for FY2021

横浜市動物園友の会会員 Number of members	家族会員	143	family members
	一般会員 (大人・小人)	217	individual members
	賛助会員	2	supporting members

◆ ボランティア活動 Volunteers (出典：年報 P84)

市立動物園では、さまざまな団体の皆様にイベントの実施や補助、傷病鳥獣保護事業の補助などボランティアでご協力を頂いています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動の大部分を中止しました(令和3年度活動実績:よこはま動物園1団体14回、野毛山動物園1団体6回、金沢動物園3団体32回)。

◆ 実習生・研修生受入実績 Interns (出典：年報 P107)

市立動物園では、例年、飼育実習、獣医実習、学芸員実習などの受入れを行っています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、博物館実習のみ受け入れました。(令和3年度実績:よこはま動物園1名、金沢動物園1名、繁殖センター32名)

発行：横浜市環境創造局公園緑地部動物園課

横浜市中区本町6丁目50番地の10

Eメール ks-dobutsu@city.yokohama.jp

電話番号 045-671-4124

ファックス番号 045-633-9171

ウェブサイト

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/zoo_garden/nenpou.html

編集：公益財団法人 横浜市緑の協会（指定管理者）

横浜市中区日本大通58番地 日本大通ビル2階

Eメール zoo-chousei@hama-midorinokyokai.or.jp（動物園調整課）

電話番号 045-228-9420（代表）

ファックス番号 045-641-0821（動物園調整課）

ウェブサイト <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/>

令和4年10月作成